



▲平成28年2月14日 卒業生壮行会の前に撮影

春は悲喜こもごも、南豫明倫館にも旅立ちと出会いがやってくる。平成28年3月、卒業生7人が4年間の思い出を胸に、飛び立った。社会人としての自覚を持って世間の荒波に立ち向かう。これからは甘い考えは許されない。大学や南豫明倫館で培った経験を糧に、頑張ってくれると期待している。

2月14日には南豫奨学会が壮行会を開き卒業生を激励。後輩には「失敗を恐れず挑戦を！」とエールを送った。



卒業生の言葉

4年間の体験生かして活躍誓う 28年3月 思い出胸に7人が卒業

卒業生氏名(大学・学部、出身地)

進路

1 将来の抱負

2 後輩への助言

古泉 翔悟(日本大学・経済学部、八幡浜市)
株式会社ローソン

1 多くのことから「信頼」される人間になりたいと考えます。大学生活で身に付けた能力を活かすことは勿論ですが、常に向上心を持って日々の職務に携わりたいと思います。

2 学生時代にしか出来ない事に、失敗を恐れず挑戦していくことが大切だと思います。それらのすべての経験が、皆さんの将来に活きると思います。

上田 敬人(東京工業大学・工学部、松山市)
東京工業大学大学院進路

1 大学院では学部のとこと違った文献や論文に触れて理解を深めていき、社会に出てそれを生かせるように努めたいと思います。

2 サークル、アルバイトや自分の趣味などで大学時代にしかできないことも沢山あるので、それらを大切に、悔いのない大学生活にしてください。

加藤 大輝(東京経済大学・コミュニケーション部、宇和島市)
愛媛銀行

1 自分でもこの先どうなるかわからないが、それが楽しみでもある。強いて言うなら今まで経験してきたことを生かして、社会に貢献したい。

2 積極性のある男になってほしい。自分から行動しないと何も始まらないから。それと思いやりと感謝の心をもってほしい。

渡邊 圭(明治大学・商学部、鬼北町)
株式会社ケセラセラジャパン

1 明倫館で得た知識や経験・人脈を胸に、社会に出てからも、より多くのことを学び、より一層立派な大人の男になるように精進してきたいと思っています。

2 明倫館での共同生活で学ぶことは多く、そのどれもが他では得ることのできないものです。一つ一つの経験を大切にしながら、今後の明倫館を盛り上げていって下さい。

高村 凌平(駒澤大学・経済学部、宇和島市)
就職活動

1 今後は、自分自身がやっている事に誇りと自信を持てるように自分に厳しく、そして何事にも一生懸命に取り組んでいきたいと思おう。

2 まず学生である以上、色んな人の支えがあったからこそ学生生活を皆送っていると思うので、周りに迷惑をかけず、自分のやりたい事に突き進んでいってほしい。

大野 寛人(専修大学・商学部、宇和島市)
株式会社シップス

1 この4年間で学んだことをいかし、これから毎日精進していきたいと思えます。4年間お世話になりました。ありがとうございました。

2 南豫明倫館の良き伝統を受け継ぎ、より良い寮にできるようながんばって下さい。またこの寮を訪れる日を楽しみにしています。ありがとうございました。

宇都宮 和彦(国士舘大学・文学部、宇和島市)
就職活動

1 物事を様々な視点で考えられる人間になりたいと思っています。いつか地域経済や南豫明倫館の発展に貢献していきたいです。

2 一緒に過ごしてきた同期、先輩、後輩は宝物です。大切にしてこれからも楽しく寮生活を満喫してください。

明倫館がよい刺激に

自治委員長 和泉 圭佑

平成二十八年度前期、南豫明倫館自治委員会委員長を務めさせていただきました。明治大学三年の和泉圭佑です。

今期、自治委員会が重点的に力を入れていこうと考えているのは「寮全体の風紀向上」です。この寮も小金井に移転して三十年が経過しており、寮内にもやや歴史の色が見えるようになってきました。これからもこの施設を後輩たちが気持ちよく使えるよう今まで以上に各施設を大切に利用し、みんなで寮の維持に努めていきたいと思っております。自治委員会一同、寮生全員にとってこの明倫館での生活がより充実したものになるよう尽力していく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度は上級生も含めて十二人の新入寮生が夢を持ってこの南豫明倫館の門を叩きました。私は、彼ら後輩が夢や目標に向かってこの大都会・東京であらゆる刺激を受けながら成長することを望むとともに、この南豫明倫館での生活が彼らにとっての「よい刺激」になればと考えております。南豫明倫館には自分と異なった学校・学年・立場の学生が一つ屋根の下に集い、共同生活を送っています。そのような自分とは違う人となりが、自分とは違う考えに触れることのできる環境に身を置くことは、寮生にとっていい刺激となり必ずや成長につながることでしよう。また寮内のルールを守ることは、社会に出た際に規則を遵守していくことへの第一歩になるでしょう。何か困ったことがあれば、友人・先輩・OBが支えてくれます。このような経験は、単なる一人暮らしでは経験することのできない、南豫明倫館ならではのものだと思います。かくいう私も、この南豫明倫館で過ごした二年少々で多くの刺激を受け、多くのことを先輩・後輩から学びました。

今、上京したての彼らは希望に満ち溢れていることでしょう。そんな彼らには勉強・遊び・恋愛何事にも精一杯取り組んで欲しいと思います。そしてこれからの社会を担っていくような人間になるべく、寮生みんなで成長していきたいです。今年度も南豫明倫館をよろしくお願い致します。

春



満開の枝垂れ桜



ニリンソウ



オドリコソウ



公園のシンボルくじら山

夏



心和む水面のカルガモ

武蔵野公園

野川公園

の魅力

～四季を通じて市民が憩う～

南豫明倫館から南に5、6分歩くと、国分寺市を源流とする野川に出会う。野川は小金井市で武蔵野公園と野川公園を貫き、やがて多摩川に合流する。

両公園は都立で、草原や雑木が豊富。

川遊びや散策、スポーツなど市民の格好の憩いの場となっている。

公園の四季を写真で紹介する。

野川で遊ぶ子供たち



冬

積雪の野川



フクジュソウ

咲き乱れる曼珠沙華



秋

コスモスを楽しむ親子



公益財団法人 南豫奨学会 「奨学金支援会」だより

「奨学金支援会」寄付のお礼とご報告

公益財団法人南豫奨学会 理事長

奨学金支援会 会長 伊達 宗信

皆様方には公益財団法人南豫奨学会と南豫明倫館の運営にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、南豫奨学会の平成二十七年年度の「奨学金支援会」には、二十八年三月三十一日現在、九十五名(二市四法人を含む)の方々から二百八十一万二千円の支援金をお寄せいただきました。皆様方のご厚意に感謝申し上げます。すべて今後の寮生の奨学金として貸与させていただきます。

南豫奨学会の奨学金貸与は、本年度までに三十二人、総額五千六百八十万円の実績を挙げました。しかし、奨学金貸与の基金としてはさらに充実させなければならぬと考えております。つきましては、何かとご出費の多い折から、まことに恐縮に存じますが、本趣旨をご高察のうえ、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

奨学金と金の基金となる年会費として、一口(普通会員一万円、特別会員≡南豫奨学会評議員・理事・監事≡三万円、法人会員五万円)以上のご支援を賜れば幸甚に存じます。未来を担う人材の育成すなわち教育こそ郷土発展の基礎だと確信しています。

郵便振込口座番号 〇二五〇一〇二九六五二三

名義 「南豫奨学会奨学金支援会」

平成27年度 支援会 募金状況

(平成28年3月31日現在)

	募金数	募金額(円)
一般	2人	20,000
現・元保護者	17人	215,000
法人	4社	220,000
市町	1市	50,000
OB	28人	350,000
評議員・審議員	26人	467,000
理事・監事・顧問	17人	1,490,000
合計	95(人・社・市)	2,812,000

※ 選定委員は評議員・審議員に含みます。

編集後記

南豫明倫館は、ハケと呼ばれる地形の中腹に建っています。ハケとは、広辞苑によると「丘陵地帯の片崖」という意味だそうです。

野川は国分寺市内を源流に、ハケの森から湧き出る水を集めて流れます。崖(がけ)がハケに変わったとか、湧き水が吐き出されるからハケだとか諸説があるようですが、詳しくはわかりません。

南豫明倫館の庭木にもウグイスやシジュウカラがやってきて、盛んに鳴き声を上げています。近くの武蔵野公園や野川公園から飛んでくるのでしょうか。ふと心が安らぎます。今号の写真特集はいかがだったでしょうか。

(戸 梶)